

第186回 TAS

2026土
3/14

14:00-16:00



話題提供者



ごとう しづお
後藤 静夫 氏
京都市立芸術大学名誉教授

1946年 静岡県出身。
専攻—近世芸能、近世文化。
人形浄瑠璃・文楽の演者、芸の伝承、公演の実態等の現状の調査、研究。文楽協会、国立劇場、国立文楽劇場で文楽公演の制作担当(34年間)後、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター教授、同センター所長、大学理事を経て同大学名誉教授。

著書『人形芝居と文楽』(小峰書店)、共著『文楽談義—語る・弾く・遣う』(創元社)、共著『ことばの力—あらたな文明を求めて』(京都大学学術出版会)、共著『岩波講座 歌舞伎・文楽 第10巻』他。

世界遺産としての 人形浄瑠璃・文楽

「世界に類を見ない

関西発祥の伝統的人形芝居

東洋史専攻の学徒から古典芸能集団へ転換、文楽の道一筋を歩みました。文楽制作を通じて体験した、江戸期からの伝統を守る人々と多様化する社会との結び目役としての経験をもとに、取つて置きのお話をさせていただきます。

参加費 一般 2,000円 / 学生 500円

■ 会場

大阪市立総合生涯学習センター(大阪駅前第2ビル 5階)
第5研修室
〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-500
大阪駅前第2ビル5階 ☎ 06-6345-5000 (代表)

■ 申込方法

受付事務局までメールでご連絡ください
✉ sec@kajinken.jp

■ 定員

36名

